

2019年度の春季大会から、千代田区立花小金井運動施設（花小金井グラウンド）の
連盟大会では、高反発バットの使用が禁止になりました。

高反発バットとは？ 以下を参考にしてください。

2019年2月

高反発バットについて

千代田区軟式野球連盟
審判部長 千木良 稔

高反発バットとは、メーカーにより名称は様々ですが、打球面の全エリアあるいは打球部に高反発ポリウレタン発泡材を使用して反発性を高めたものを言います。

【一般軟式用FRP製バット】等の名称で販売されています。

【主な製品例】

◎ミズノ

- ・ピヨンドマックス ギガキング (BEYONDMAX GIGAKING)
- ・ピヨンドマックス ギガキングミドル
- ・ピヨンドマックス オーバル

◎SSK

- ・ナイスハンター
- ・ライズアーチ193

◎ゼット

- ・ブラックキャノン マックス (BLACKCANNON-MAX)
- ・ブラックキャノン ZII (BLACKCANNON-ZII)
- ・ブラックキャノン NT (BLACKCANNON-NT)
- ・バトルウイン (BATTLEWIN)

◎アシックス

- ・バーストインパクトEX (BURST IMPACT EX)
- ・バーストインパクト (Burst Impact)
- ・バーストインパクトLW (Burst Impact LW)
- ・ネクストチューブ (NEXTUBE)

◎ハイゴールド

- ・エクストリームインパクト

◎ウィルソン

- ・ディマリニ ケーポイント

◎ローリングス

- ・ハイパーマックスS

◎ルイスビルスラッガー

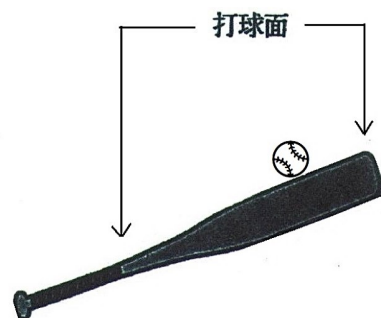
- ・ニュートロン
- ・カタリストII TI

◎美津和タイガー

- ・レボルタイガー イオタ

◎米国大手 イーストン社製

- ・ゴーストX



以上は、一例です。これらのバット以外にもメーカーが多数ありますので、素材を確認してください。

(朱書は2020年に追加されたものです — HP管理者)